

令和5年11月16日

「第2回 高齢者活躍推進ワーキングチーム」を開催

～高齢者雇用の現状と課題について調査したアンケートの結果がまとまりました～

(一社)日本物流団体連合会(真貝 康一会長)は、「第2回 高齢者活躍推進ワーキングチーム(座長:東京女子大学 二村 真理子教授)」を11月8日(水)に都内の全日通霞が関ビル会議室で開催し、オンラインを含む計20名が参加しました。

このワーキングチームでは、物流業界において大きな課題となっている労働力不足において、その対応策の一つとして期待されている豊富な知識や経験を持つ高齢者の活躍について、そのために必要な対応策等を検討することを目的としています。

今回の会合では、物流業界における高齢者雇用の現状と課題を調査するために9月に行いましたアンケートの結果が、事務局より報告されました。アンケートは「企業用」と「事務職従業員用」の二種類を準備し、「企業用」(回答数41件)は会員企業の人事・総務担当者から、「事務職従業員用」(回答数508件)は各企業の事務職従業員からそれぞれ回答を頂きました。(事務職従業員へのアンケートは、なるべく各世代から回答を頂けるように60歳未満、60～65歳未満、65歳以上の方、の3世代に可能な限り分けて割り振って頂きました。)報告後の質疑応答では参加者から様々な質問、意見が飛び交いました。

その後、アンケート結果から読み取れる高齢者活躍推進のための課題について事務局より説明がありました。今後、課題を解決するためにアンケート回答者や効果的な取り組みを行っている企業(他業界も含む)に対してヒアリング調査を予定していますので、ヒアリングの項目案についても参加者で議論しました。

今後引き続き数回の会合を行い、検討結果を取りまとめ、報告書として公表する予定です。

尚、次の第3回会合は、2023年12月7日に開催する予定としています。

以上
事務局 中島



二村座長



全体風景